

平成29年度

みやぎ小・中学生いじめゼロCMコンクール表彰式

ビデオCMという様々な表現が可能な媒体を通して、いじめ根絶の重要性をより多くの小・中学生に伝えるとともに、一般の人々にも広く周知すること、更には、ビデオCMづくりを通して、より深いいじめ問題について考えさせることを目的に、昨年度から始まり第3回目となった「平成29年度みやぎ小・中学生いじめゼロCMコンクール」の表彰式と優秀作品の発表会を行いました。

表彰式には最優秀賞に輝いた岩沼市立岩沼中学校生徒会を代表して、3年生の小野妃菜子さん、西堀里野さん、優秀賞の栗原市立鶯沢小学校うぐいす児童会を代表して、6年生の佐々木京音さんと高橋美遥さんが参加し、高橋仁県教育長からそれぞれ賞状と副賞を受け取りました。

受賞作品の上映の後には、制作の様子や作品に込めた思いを発表し、会場から大きな拍手をいただきました。

受賞した3作品は、10月7日（土）を皮切りに、10月27日（金）までの間、ミヤギテレビ放送で合計8回放送されます。



【感想】

- ・ 7作品どれもいじめに対する気持ちが心に響いた。
- ・ 1人1人がいじめについて考えていたし、手を差し伸べている所も良かった。
- ・ 全てストーリーがあっけすごいいいと思いました。
- ・ 全部いじめをなくすために努力しているのが伝わりました。
- ・ 立ち直る先には友達がいていいと思いました。
- ・ 何度も考えさせられるCMで良いと思いました。
- ・ いじめを0にしたいという思いが伝わってきました。
- ・ どの学校も、どうしていじめはいけないのかが良く伝わりました。
- ・ 1つのCMに様々な意味が込められているんだと思いました。学校で実行したいと思います。
- ・ 小・中学生だけでCMが作れるなんてすごいなと思った。色々な工夫が詰まっていて凄かった。
- ・ それぞれ、いじめについて具体的に表現していて、いじめの怖さがよくわかった。
- ・ 勇気を出して、いじめられている人を助けるという作品が多くとても良かったです。
- ・ CMコンクールを見ていじめを見て見ぬふりはしてはいけないということが良く分かりました。
- ・ 相手へどう伝えるのかの参考になったし、自分自身もそこから学ぶことがあった。
- ・ 私はCMは出していませんけど、来年やってみようと思いました。
- ・ みんながしっかりいじめ0と向き合っているのだなと思いました。
- ・ いじめをなくすための行動力が凄いいいと思いました。
- ・ クオリティーが高かったのでびっくりしました。
- ・ クラスの皆と協力し、一つの物を作ることに素晴らしさを感じた。
- ・ 近い年齢の人が作ったとは思えないくらい素晴らしかったです。このCMを全国の人に見てもらい、いじめゼロにむけて考えてほしいと思います。

<みやぎ小中学生いじめ問題を考えるフォーラムに参加していた小学生の感想（一部）>